



# 再び正副議長を新政が独占

## 共産党市議団「公正な議会運営」を要求

市議会臨時会

鶴岡市議会臨時会が  
9日開かれ、正副議長

と常任委員会の選任を  
行い、議会構成の変更

を決めました。

議長に佐藤文一議員、副議長に上野多一郎議員を選出しました。選挙結果は次の通りです。

【議長選挙】 30票  
(有効29 無効1)  
佐藤 文一 25票  
加藤 太一 3票  
野村 廣登 1票

【副議長選挙】 30票  
(有効30 無効0)  
上野多一郎 20票  
石井 清則 10票

共産党「副議長は第2会派から」と主張は、議長は第1会派か

ら、副議長は第2会派から出すと同時に、公平公正な議会運営に努めるためには、議長は会派から離脱するべきと主張してきました。

しかし、正副議長とも第1会派の新政クラブが独占しました。

共産党市議団は議長選挙では党市議団長の加藤太一議員に、副議長は第2会派の市民クラブ代表に投票しました。

党市議団の常任委員会所属は次の通りです。

鶴岡市議会の会派代表者は次の通りです。  
総務〓加藤鉦一  
市民文教〓加藤太一  
産業建設〓菅井巖  
議会運営〓加藤太一  
厚生は党市議団が不在となります。  
日本共産党市議団  
(3) 加藤太一  
新政クラブ (17) 五十嵐庄一  
市民クラブ (5) 石井清則  
政友会明クラブ (3) 富樫正毅

### 補正予算など議案9件全会一致

臨時市議会では、平成27年度一般会計補正予算など9件が審議され、全会一致で可決されました。

一般会計補正予算では、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支

援交付金(地方創生先行型)の先駆的事業分に採択された「次世代イノベーション都市高度ブランド化推進事業」2450万円(次世代農業の先端的な開発や事業を展開している企業を世

界から本市に招聘し、意見交換や公募によるビジネスモデルコンペを行う)、温海地域における伝統農法の継

承による雇用創出など「中山間集落モデル農業実践事業」780万円、月山ジオパーク推進協議会がおこなう「インバウンドジョットー展開連携事業」負担金1000万円の合計4230万円を補正しました。  
羽黒庁舎改築工事契約締結を可決  
議決を要する1億5千万円以上の請負契約締結では、羽黒庁舎改築工事について菅原・笠原特定建設工事共同企業体と5億4432万円、同機械設備工事について山空・日栄特定建設工事共同企業体と1億7560万8千円の2件を可決しました。

### 会派代表者会議で合意した関係委員会等

|                    |   |
|--------------------|---|
| ▽議会だより編集委員会        | ◎富樫正毅(政公)、○五十嵐一彦(新政)、菅井巖(共産)、今野美奈子(市民)、副議長                                    |
| ▽高速交通等対策特別委員会      | ◎五十嵐庄一(新政)、○菅井巖(共産)、小野由夫、今野美奈子(市民)、中沢洋(政公)、今野良和、野村廣登、上野多一郎、本間新兵衛、尾形昌彦(新政)     |
| ▽議会改革特別委員会         | ◎小野寺佳克(新政)、○石井清則(市民)、加藤鉦一(共産)、渡辺洋井(市民)、富樫正毅(政公)、五十嵐庄一、佐藤博幸、尾形昌彦、齋藤久、五十嵐一彦(新政) |
| ▽人口減少・地域活性化対策特別委員会 | ◎本間新兵衛(新政)、秋葉雄(政公)、加藤鉦一(共産)、石井清則、加賀山茂(市民)、本間信一、小野寺佳克、尾形昌彦、菅原一浩、佐藤久樹(新政)       |
| ▽庄内広域行政組合議員        | 神尾幸(新政)、石井清則(市民)、菅井巖(共産)、中沢洋(政公)、今野良和、渋谷耕一、五十嵐一彦(新政)                          |
| ▽山形県後期高齢者医療広域連合議員  | 本間信一(新政)  |
| ▽監査委員              | 野村廣登(新政)  |
| ▽農業委員              | 齋藤久(新政)   |
| ▽総合計画審議会           | 加藤太一(共産)、渡辺洋井(市民)、秋葉雄(政公)、岡村正博、本間新兵衛(新政)、議長                                   |
| ▽国保運営協議会           | 齋藤久(新政)、今野美奈子(市民)、加藤鉦一(共産)、秋葉雄(政公)、岡村正博(新政)                                   |
| ▽都市計画審議会           | 加藤太一(共産)、今野美奈子(市民)、富樫正毅(政公)、神尾幸、渋谷耕一、菅原一浩(新政)                                 |

(2面につづく)



(電気設備工事はデンケン・斎藤電気特定建

単位：千円

平成27年度 補正予算一覧表 (11月補正)

[一般会計]

| 款 | 項 | 目 | 担当課     | 事業名                              | 補正額    | 財源内訳   |    |     |      | 摘要                                  |
|---|---|---|---------|----------------------------------|--------|--------|----|-----|------|-------------------------------------|
|   |   |   |         |                                  |        | 国県支出金  | 市債 | その他 | 一般財源 |                                     |
| 2 | 1 | 6 | 政策企画課   | 次世代イノベーション都市高度ブランド化推進事業(地方創生先行型) | 24,500 | 24,500 |    |     |      | 次世代農業国際カンファレンス・ビジネスコンペティション開催に係る補助金 |
| 6 | 1 | 5 | 農山漁村振興課 | 中山間集落モデル農林業実践事業(地方創生先行型)         | 7,800  | 7,800  |    |     |      | 温海地域における中山間集落モデル事業に係る経費             |
| 7 | 1 | 4 | 観光物産課   | インバウンドジオツアー展開連携事業(地方創生先行型)       | 10,000 | 10,000 |    |     |      | 月山ジオパーク推進協議会が行うインバウンドジオツアー事業等に係る負担金 |
|   |   |   |         |                                  | 42,300 | 42,300 |    |     |      |                                     |

設工事共同企業体と1億2744万円)

工期はいずれも平成28年11月16日まで。

旧朝四小跡地の一部、介護老人施設用地として減額譲渡

土地の減額譲渡については、朝陽第四小学校跡地の一部8500㎡を社会福祉法人一幸会(理事長北楯祥子)に9390万5664円で譲渡するもの。

同法人は「地域密着型介護老人福祉施設」を中核に小規模多機能型介護事業所、サービ

ス付き高齢者住宅等を合わせた複合施設の建設を目的とすることから、市の基準に基づき

入札金額1億6256万2500円(1万9125円/㎡)の57.8%に減額するものです。

学校廃合などでスクールバス7台購入

財産の取得では、学校統合に伴うスクールバス購入で羽黒・広瀬小1台、温海・あつみ小2台、及び文下地域の通学のために朝陽5小1台のマイクロバス

計4台2278万8千円を太平興業(株)鶴岡支店から購入するもの。

藤島中学校の大型バス1台の更新で2052万円、統合後のあつみ小学校に中型バス2台2965万6800円を、いずれも(株)庄交コーポレーションから購入するものです。

災害対応特殊消防ポンプ自動車は鶴岡西分署に更新配備し、4285万4400円で(株)大滝商会から購入するものです。

議会選出の市監査委員について、野村廣登議員を選出しました。

# 住民合意なくとも学校統合

## 栄・長沼・羽黒の3小学校 市議会会派代表者会議で市当局

4日、鶴岡市議会会派代表者会議が行われ、「学校適正配置基本計画(第2期)」と

では、これまで6小学校が閉校し、来年度から4校が閉校します。

再来年には加茂小学校が閉校します。

「(株)鶴岡コールセンター関連緊急雇用創出事業の補助金の返還について」の説明を受けました。

学校適正配置化計画

計画ではこれまで検討しながら実施できなかった、栄・長沼・羽黒第一の3小学校を、平成30年4月まで地域

同センターへの求償は破産手続きが終わり、債権の免責が認められているため困難と説明しました。

加藤太一市議は、三小学校に関連して、「三小・五小・京田小学区の学区再編を検討したか」と質問したのに対して、「学区の見直しは検討していない」と答えました。

# 人工クモ糸の夢と自治体の責任

▽慶応大学先端生命科学研究所から生まれたベンチャー企業・スパイバー社の人工クモ糸が大きな話題となっています。石油に依存せず、鉄よりも強く、ナイロンよりしなやかな「夢の素材」の開発は、社会の発展に大きく貢献する素晴らしい技術です。▽しかし、山形県と鶴岡市がおこなってきた研究所に対する支援の是非は、別問題です。私は9月議会で、「40社が創業、1000人雇用が生まれる」と言って支援がおこなわれてきたが、今の段階に至って、製品工場が鶴岡に立地する見通しは出てき

たのか」「産業と雇用の成果に見合った支援に見直すべき」と問い正しました。県は「立地は各企業の企業戦略による」「スパイバー社にお願いはしていく」などと答弁。製品の製造は結局鶴岡ではおこなわれたいかも知れないと示唆しました。▽県と市の税金投入は併せて151億円に及んでいますが、産業振興と雇用創出がどう図られるのか、今後も従来通りの支援(県と市で年7億円)をおこなうのか、推進してきた行政・党派にのびよ問われています。

(県議 関 徹)

# 駅前「不適切看板」撤去 新婦人鶴岡支部の要望で実現

新日本婦人の会鶴岡支部(五十嵐みどり支部長)が7月に庄内支庁へ申し入れ要望していた、鶴岡駅前交差点の「女の子のための、高収入・アルバイト求人情報」を掲げた不適切な看板が、10月中旬

務局長によれば、県の担当者が看板業者を訪れ、新婦人から出された要望を伝え「看板に問題があると承知してもらった」とのこと。

付近は観光客や車の交通量も多く、高校生などの通学路にも当たり、「市のイメージや、子どもたちに影響があるのではと心配していた」「外されてよかった」との声が市議団にも寄せられています。



に撤去された。新婦人の高橋史事